

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年8月7日 (2014.8.7)

【公開番号】特開2012-252426(P2012-252426A)
 【公開日】平成24年12月20日 (2012.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報2012-054
 【出願番号】特願2011-122969(P2011-122969)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月19日 (2014.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を順次取得する環境情報取得手段と、
 前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する
1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段
 と、

前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置され
 る情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する制限手段と
、を含み、

前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定さ
 れており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾
 値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾
 値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう
 変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項 2】

前記機密度の閾値を機密性が高くなるよう変化させる場合の前記機密度の閾値の変化量
 が、前記機密度の閾値を機密性が低くなるよう変化させる場合の前記機密度の閾値の変化
 量よりも大きい、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて当該変化から前記
 機密度の閾値を機密性が低くなるよう変化させるまでの期間が、前記環境情報の変化に応
 じて当該変化から前記機密度の閾値を機密性が高くなるよう変化させるまでの期間よりも
 長い、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記機密度の閾値を機密性が高くなるよう変化させる際の基準となる環境情報と、前記機密度の閾値を機密性が低くなるよう変化させる際の環境情報と、が異なる、

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

前記制限手段は、前記ユーザに提供される画面に表示される情報の範囲を制限する、ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 6】

画面に含まれないよう制限された情報の代わりに代替情報が配置されるよう、ユーザに提供される画面に含まれる情報を制御する制御手段、をさらに含む、

ことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 7】

前記環境情報取得手段は、前記情報処理端末の位置を示す情報を順次取得し、

前記開示可能範囲変化手段は、前記環境情報取得手段により順次取得される位置の変化に応じて、前記ユーザに関する情報の開示可能範囲を変化させる、

ことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 8】

前記環境情報取得手段は、前記情報処理端末の移動量を示す情報を順次取得し、

前記開示可能範囲変化手段は、前記環境情報取得手段により順次取得される移動量の変化に応じて、前記ユーザに関する情報の開示可能範囲を変化させる、

ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 9】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を順次取得する環境情報取得ステップと、

前記環境情報取得ステップにより順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する 1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素 を変化させる開示可能範囲変化ステップと、

前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する制限ステップと、を含み、

前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得ステップにより順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化ステップ、をさらに含み、

前記開示可能範囲変化ステップでは、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 10】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段と、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する 1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素 を変化させる開示可能範囲変化手段と、

前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段と、を含み、

前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 1】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段と、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段と、前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を変化させる指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段と、を含み、前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる 情報処理装置に、自装置のおかれた環境を表す環境情報を送信する環境情報送信手段と、

前記指示出力手段から出力される指示に応じて、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する制限手段と、

を含むことを特徴とする情報処理端末。

【請求項 1 2】

自装置のおかれた環境を表す環境情報を順次取得する環境情報取得手段と、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記ユーザに関する1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段と、

情報処理装置から受信した前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲が、前記特定される情報要素に制限されるよう画面に表示される情報を制限する制限手段と、含み、

前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とする情報処理端末。

【請求項 1 3】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1 又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段

、

前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段、としてコンピュータを機能させ、

前記 1 又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定さ

れており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、として前記コンピュータをさらに機能させ、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 14】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段と、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段と、前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を変化させる指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段と、を含み、前記1又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる情報処理装置に、自装置のおかれた環境を表す環境情報を送信する環境情報送信手段、

前記指示出力手段から出力される指示に応じて、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する制限手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 15】

自装置のおかれた環境を表す環境情報を順次取得する環境情報取得手段、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記ユーザに関する1又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段、

情報処理装置から受信した前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を、前記特定される情報要素に制限する制限手段、としてコンピュータを機能させ、

前記1又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、として前記コンピュータをさらに機能させ、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 16】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段、

前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置され

る情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段、としてコンピュータを機能させ、

前記1又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、として前記コンピュータをさらに機能させ、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、

前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とするプログラムを記録した記録媒体。

【請求項17】

情報処理端末のおかれた環境を表す環境情報を前記情報処理端末から順次取得する環境情報取得手段と、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段と、前記特定される情報要素に制限されるよう、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する指示を前記情報処理端末に出力する指示出力手段と、を含み、前記1又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、をさらに含み、前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる情報処理装置に、自装置のおかれた環境を表す環境情報を送信する環境情報送信手段、

前記指示出力手段から出力される指示に応じて、前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を制限する制限手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とするプログラムを記録した記録媒体。

【請求項18】

自装置のおかれた環境を表す環境情報を順次取得する環境情報取得手段、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、ユーザに関する1又は複数の情報要素のうちから特定される情報要素を変化させる開示可能範囲変化手段、

情報処理装置から受信した前記ユーザに提供されるページに配置される情報を生成するために利用される当該ユーザに関する情報の範囲を、前記特定される情報要素に制限する制限手段、としてコンピュータを機能させ、

前記1又は複数の情報要素のそれぞれには、情報の機密性の高低を表す機密度が設定されており、

前記環境情報取得手段により順次取得される環境情報の変化に応じて、前記機密度の閾値を変化させる機密度閾値変化手段、として前記コンピュータをさらに機能させ、

前記開示可能範囲変化手段は、前記情報要素に設定されている機密度と前記機密度の閾値とに基づいて、前記特定される情報要素を変化させ、前記機密度の閾値の変化又は前記機密度の閾値が変化する条件は機密性が高くなるよう変化させる場合と低くなるよう変化させる場合とで異なる、

ことを特徴とするプログラムを記録した記録媒体。